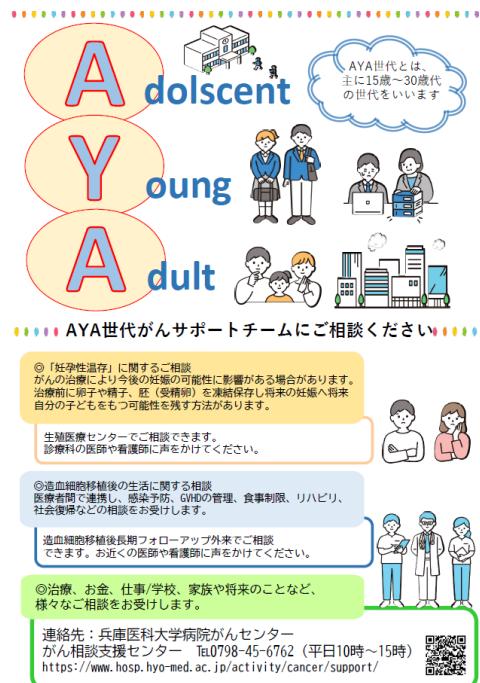


## XVIII. AYA 世代がんサポートチーム

思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult : AYA）世代（15～39歳）である AYA 世代のがん患者さんは、疾患構成が多様であり年代によって就学、就労、生殖機能等の状況が異なる。また、心理社会的状況も様々であるため、AYA 世代の個々のがん患者さんの状況に応じた多様なニーズに対応できるよう、疾患や治療に加え、就労/就学、恋愛/結婚、経済的問題などのアンメットニーズに関する情報提供、意思決定支援や相談支援を行っている。アンメットニーズをつなげ、効果的に連携し介入や対処について対話する場を充実させ、AYA 世代がん患者・家族の診療・ケア・サポートの質の向上を目指す。



### 【活動内容】

部署やチームメンバー間での診療・ケアの連携、患者さんの支援内容や関わりについて日々の部署の多職種カンファレンスの参加、面談などの直接介入に加え、緩和ケアチーム等の他の医療チームとも協働しながらコンサルテーション型チームとして活動している。チーム結成初年度でもあり、チームメンバーの知識や現状の各職種の取り組み状況の共有と各診療科の AYA 支援の現状の共有など、チームミーティング（第1回 AYA 世代がんサポートチーム会議）を開催した。AYA 世代がん患者・家族・医療者向けのリーフレットを作成し広報を開始した。さらに、「AYA 世代がん患者さんのスクリーニングシート」を作成し、がん患者の苦痛のスクリーニングと並行し運用できる体制を準備中である。

AYA 世代のがん患者・家族に対して様々なアンメットニーズの意思決定支援、就労支援、治療に伴う生殖機能等への影響の情報提供や妊娠性温存への支援、心理的苦痛等など、具体的な支援につなげ対応した。また、カンファレンスに参加し共に検討し、情報提供や調整、相談等のサポートを行った（2023 年度 15 件）。